辰野町長 武居 保男 様

辰野町監査委員 中村 文昭

辰野町監査委員 小澤 睦美

# 令和6年度辰野町公営企業会計決算及び 経営健全化の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、令和6年度辰野町公営企業会計の歳入歳出決算、関係諸帳簿及び証拠書類並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類を審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

# 令和6年度辰野町公営企業会計決算審査意見書

#### 第1 審査の概要

1 審査の対象

令和6年度 辰野町上水道事業 令和6年度 辰野町下水道事業 令和6年度 町立辰野病院事業

#### 4 審査の手続

令和6年度辰野町公営企業会計の決算の審査は、町長から提出された決算書類の内容について

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- (3) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか

などを重点に、会計帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め 関係者から聴取し、例月出納検査の結果も参考に、決算審査を実施した。

#### 第2 審査の結果

各事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則って、各公営企業の会計規定に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。また、各事業の経営についても、地方公営企業法の基本原則に沿って、適切に運営されているものと認められた。

# I. 辰野町上水道事業

### 第1 経営の状況

#### 業務実績

令和6年度における上水道事業は、年度末給水人口が17,840人と前年度に比べ1.6%減、年度末給水件数は27件減の8,284件である。年間総配水量は前年度に比べ1.0%増の2,236,378㎡、年間総有収水量は前年度に比べ0.7%減の1,891,877㎡である。

また過去3年間の業務量の推移は下表のとおりである。

総収益は 413, 017, 755 円 (営業収益 325, 450, 175 円、営業外収益 87, 567, 580 円、特別利益 0 円) で、前年度に比べ 3.4%、13, 595, 212 円の増である。

一方、総費用は388,221,740円(営業費用376,002,117円、営業外費用12,180,464円、特別損失39,159円)で、前年度に比べ4.1%、15,231,827円の増となったが、収支差引きでは24,796,015円の経常利益を出し、前年度から引き続き黒字決算となった。

【表1】業務量

	事 項	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比
年度	末給水人口	人	17, 840	18, 125	18, 430	98.4%
年度	末給水件数	件	8, 284	8, 311	8, 313	99. 7%
計画	給水人口	人	20, 515	20, 515	20, 515	100.0%
普及	率	%	99.8	99.8	99.8	100.0%
配	年間総配水量	m³	2, 236, 378	2, 214, 827	2, 249, 914	101.0%
水量	1日平均配水量	m³	6, 127	6, 051	6, 164	101.3%
里	1日最大配水量	m³	7, 299	6, 882	6, 947	106. 1%
有	年間総有収水量	m³	1, 891, 877	1, 904, 921	1, 950, 044	99.3%
有収水量	1日平均有収水量	m³	5, 183	5, 205	5, 343	99.6%
量	1日1人平均有収水量	L	291	287	290	101. 2%
有収	有収率		84. 6	86.0	86. 7	98.4%
供給単価		円/m³	171. 3	161. 6	161. 0	106.0%
給水原価		円/m³	165. 6	156. 5	148.6	105. 8%
供給	収益	円/m³	5. 7	5. 1	12.4	111.8%

【表2】経営成績 (単位:千円)

年	度	総収益	総費用	純利益
令和 4年	度 A	407, 375	370, 597	36, 778
令和 5年	度 B	399, 423	372, 990	26, 433
令和 6年	度 C	413, 018	388, 222	24, 796
	A	100.0%	100.0%	100.0%
前年度対比	B/A	98.0%	100.6%	71. 9%
	C/B	103.4%	104. 1%	93. 8%

# 第2 決算状況

# ① 収益的収支

収益的収入の決算額は 446,039,292 円で、前年度に比べ 3.5%、15,205,796 円の増である。収益的支出の決算額は 406,173,390 円で、前年度に比べ 3.9%、15,175,595 円の増である。

【表3】収益的収支の状況(決算額) ※税込み (単位:円)

			/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /			(1   === 1 1 1 /
	区	分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比
7	水道事業収益		446, 039, 292	430, 833, 496	439, 131, 015	103. 5%
	営業収益		357, 862, 376	340, 053, 439	346, 337, 402	105. 2%
	営業外収益		88, 176, 916	90, 780, 057	92, 793, 613	97. 1%
	特別利	益	0	0	0	-
7	水道事業費用		406, 173, 390	390, 997, 795	394, 913, 618	103. 9%
	営業費用		387, 903, 590	369, 573, 340	363, 728, 028	105. 0%
	営業外費用		18, 228, 145	21, 409, 050	31, 170, 304	85. 1%
	特別損失		41, 655	15, 405	15, 286	270. 4%
	差	引	39, 865, 902	39, 835, 701	44, 217, 397	100.1%

#### ② 資本的収支

資本的収入の合計は 164, 245, 501 円で、前年度に比べ 39.3%、46, 331, 135 円の増である。収入の内訳は、県補助金、企業債及び企業債元金償還に伴う一般会計補助金等である。

資本的支出の合計は 314,052,935 円で、前年度に比べ 1.4%、4,289,372 円の増である。支出の内訳は、建設改良費として配水管布設工事や老朽施設更新工事、企業債償還金である。

なお、当年度の資本的収支不足額 149,807,434 円は、当年度・過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補填している。

【表4】資本的収支状況(決算額) ※稅込み

(単位:円)

	項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	国庫補助金(県含む)	8, 840, 000	4, 300, 000	0
収	企業債	135, 400, 000	91, 900, 000	5, 600, 000
	負担金	0	0	0
	他会計補助金	20, 005, 501	21, 714, 366	22, 664, 933
	出資金	0	0	0
入	固定資産売却代金	0	0	0
	収入合計 (A)	164, 245, 501	117, 914, 366	28, 264, 933
支	建設改良費	173, 422, 180	160, 233, 045	90, 822, 548
	企業債償還金	140, 630, 755	149, 530, 518	153, 056, 432
出	支出合計 (B)	314, 052, 935	309, 763, 563	243, 878, 980
差引	過不足(C)	△ 149, 807, 434	△ 191, 849, 197	△ 215, 614, 047
	前年度損益勘定留保資金	112, 123	1, 111, 648	13, 606, 508
	当年度損益勘定留保資金	129, 516, 593	133, 893, 959	129, 956, 669
C Ø	消費税資本的収支調整額	11, 178, 718	13, 143, 590	7, 050, 870
の補填財源	引継金	0	0	0
財源	減債積立金	9, 000, 000	23, 700, 000	35, 000, 000
1///	建設改良積立金	0	20, 000, 000	30, 000, 000
	3条収支に充当する企業債	0	0	0
	計 (D)	149, 807, 434	191, 849, 197	215, 614, 047
差引	過不足金(C—D)	0	0	0

#### ③ 損益計算

営業収益は 325,450,175 円で、前年度に比べ 5.3%、16,252,237 円の増で、給水収益は 324,037,007円で、前年度に比べ 5.3%、16,277,185円増加している。

営業外収益は87,567,580円で、前年度に比べ2.9%、2,657,025円の減である。

営業費用は376,002,117円で、前年度に比べ4.6%、16,597,480円の増である。

営業外費用は 12, 180, 464 円で、前年度に比べ 10.2%、1,389,407 円の減である。

以上の結果、当年度は純利益が24,796,015円となり、黒字決算となった。

【表 5】損益計算書 ※税抜き

【父り】頂無可弁官	76 17L1/X C			(+	-17. · 1 1)
項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度比較	前年度対比
営業収益	325, 450, 175	309, 197, 938	314, 906, 472	16, 252, 237	105.3%
給水収益	324, 037, 007	307, 759, 822	314, 053, 491	16, 277, 185	105.3%
受託工事収益	0	0	0	0	0.0%
その他営業	1, 413, 168	1, 438, 116	852, 981	△ 24,948	98.3%
営業外収益	87, 567, 580	90, 224, 605	92, 469, 011	△ 2,657,025	97.1%
利息・配当	472, 853	217, 288	277, 199	255, 565	217.6%
国庫補助金	2, 692, 000	0	2, 208, 000	2, 692, 000	皆増
負担金	10, 023, 573	9, 454, 986	8, 201, 966	568, 587	106.0%
長期前受金戻入	72, 160, 869	74, 898, 079	78, 595, 819	△ 2, 737, 210	96. 3%
雑収益	993, 305	4, 016, 182	1, 139, 904	△ 3, 022, 877	24. 7%
他会計補助金	1, 224, 980	1, 638, 070	2, 046, 123	△ 413,090	74. 8%
特別利益	0	0	0	0	0.0%
収益合計	413, 017, 755	399, 422, 543	407, 375, 483	13, 595, 212	103.4%
営業費用	376, 002, 117	359, 404, 637	353, 931, 058	16, 597, 480	104.6%
原水・浄水	48, 006, 396	45, 035, 952	53, 924, 918	2, 970, 444	106.6%
配水・給水	66, 438, 249	48, 292, 964	42, 038, 449	18, 145, 285	137.6%
受託工事費	0	0	0	0	0.0%
総係費	56, 508, 342	56, 999, 790	48, 307, 844	△ 491, 448	99. 1%
減価償却費	204, 029, 702	205, 766, 598	207, 531, 713	△ 1,736,896	99. 2%
資産減耗費	1, 019, 428	3, 309, 333	2, 109, 134	△ 2, 289, 905	30.8%
その他営業	0	0	19, 000	0	0.0%
営業外費用	12, 180, 464	13, 569, 871	16, 650, 902	△ 1, 389, 407	89. 8%
支払利息	11, 184, 145	13, 202, 450	16, 219, 304	△ 2,018,305	84. 7%
雑支出	996, 319	367, 421	431, 598	628, 898	271. 2%
費用合計	388, 182, 581	372, 974, 508	370, 581, 960	15, 208, 073	104. 1%
経常利益	24, 835, 174	26, 448, 035	36, 793, 523	△ 1,612,861	93. 9%
特別損失	39, 159	15, 405	15, 286	23, 754	254. 2%
当年度純利益	24, 796, 015	26, 432, 630	36, 778, 237	△ 1,636,615	93. 8%
前年度繰越利益剰余金	9, 232, 116	2, 799, 486	6, 021, 249	6, 432, 630	329. 8%
未処分利益剰余金変動額	9, 000, 000	43, 700, 000	65, 000, 000	△ 34, 700, 000	20.6%
当年度未処分利益剰余金	43, 028, 131	72, 932, 116	107, 799, 486	△ 29, 903, 985	59.0%
	•				•

(単位:円)

#### ④ 未収金の状況

水道使用料未収金のうち現年度分は 4,766,328 円で、前年度に比べ 3.5%、162,703 円の増額、 過年度分は 4,298,655 円で前年度に比べ 9.4%、446,859 円の減額となった。

## 【表6】上水道未収金

(単位:円)

区 分	金	額		備	考	
水道使用料未収金		9, 064, 983		4, 766, 328	(前年比 103.53%)	
		9, 004, 903	過年度	4, 298, 655	(前年比 90.58%)	
その他未収金	40,000	現年度	40,000	(前年比 121.21%)		
		40, 000	過年度	0	(前年比 0.00%)	
合 書		9, 104, 983				

## 審査意見

1 上水道事業会計の主たる収入は給水収益であるが、給水人口と有収水量、給水件数が減少した。 引き続き漏水調査業務委託を実施し、新たな漏水箇所の発見・修繕を行っているものの、有収率 は1.4 ポイント減少した。

支出面においては老朽化した水道設備、機械、管路の更新や耐震化を計画的に進めているが、 今後も管路の更新は続いていく。営業損益での赤字を出すことのないよう経営されたい。 24,796,015 円の当年度純利益を計上し、前年度繰越利益剰余金を含めた当年度未処分利益剰余金 は43,028,131 円となった。なお、未処分利益剰余金のうち、議会の議決による処分として資本金 への組み入れに9,000 千円を計上し、条例による処分として減債積立金に20,000 千円、建設改良 積立金に10,000 千円を積立てている。

- 2 事業の実施にあたっては、令和 6 年度の浄水施設改良事業は、下横川簡易水道一ノ瀬配水池膜 ろ過設備新設工事(繰越)、穴倉沢飲料水供給施設浄水設備改良工事(繰越)、NTT専用回線サ ービス終了に伴うテレメータ更新等工事を、配水施設改良事業では、国道 1 5 3 号拡幅工事に伴 う水道管仮設工事(繰越)、下横川簡易水道一ノ瀬地区配水管布設替工事を実施した。今後も、健 全な運営と安全な水の安定供給の維持に努められたい。
- 3 水道使用料の未収金については年々減少傾向にあり、徴収率については、現年度分は微増、過年度分は不能欠損していないものの増加となり改善が見られた。個々の管理など基本的な対策を引き続き行い、水道料の値上げもされたことから、納入者の不公平感を招くことのないようしっかりとした対策を講じられたい。

安定した収益を得るため、収納確保の強化に努め、事業会計の健全化に今後も一層努力をされたい。

4 人員面では、専門的知識や技術の継承等の課題に対し、適正な人員の配置・確保に努められたい。

# Ⅱ. 辰野町下水道事業

### 第1 経営の状況

#### 業務実績

令和6年度における下水道事業は、水洗化戸数が公共下水道事業で6,003戸、特定環境保全公共下水道事業で587戸、農業集落排水処理施設事業で290戸である。年間総処理水量は公共下水道事業で1,948,370㎡、特定環境保全公共下水道事業で275,210㎡、農業集落排水処理施設事業では84,978㎡である。年間総有収水量は公共下水道事業で1,692,192㎡、特定環境保全公共下水道事業で249,680㎡である。

また業務量の推移は下表のとおりである。

総収益は 868, 084, 248 円 (営業収益 365, 388, 927 円、営業外収益 502, 695, 321 円、特別利益 0 円) で、前年度に比べ 1.3%、11, 741, 349 円の減である。

一方、総費用は 776, 397, 144 円 (営業費用 723, 568, 959 円、営業外費用 52, 624, 390 円、特別損失 203, 795 円) で、前年度に比べ 0.3%、2, 505, 365 円の減となり、収支差引きでは 91, 687, 104 円の当年 度純利益を出し、黒字決算となった。

【表7】業務量

# ア 公共下水道事業

	事 項	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比
水洗	化戸数	戸	6, 003	5, 999	6, 050	100.1%
区域	内人口	人	15, 163	15, 370	15, 588	98. 7%
水洗	化人口	人	14, 504	14, 667	14, 859	98.9%
水洗	化率	%	95. 7	95. 4	95. 3	100.3%
処	年間総処理水量	m³	1, 948, 370	1, 928, 156	1, 964, 699	101.0%
理水量	1日平均処理水量	m³	5, 338	5, 268	5, 383	101.3%
量	1日最大処理水量	m³	7, 471	7, 813	6, 760	95.6%
年間	総有収水量	m³	1, 692, 192	1, 682, 695	1, 760, 412	100.6%
有収水率		%	86. 9	87. 3	89. 6	99. 5%
使用料単価		円/m³	193. 7	193. 4	192. 8	100. 2%
汚水	処理原価	円/m³	233. 0	237. 5	244. 0	98. 1%

# イ 特定環境保全公共下水道事業

	事 項	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比
水洗	化戸数	戸	587	593	602	99.0%
区域	内人口	人	1, 417	1, 443	1, 472	98. 2%
水洗	化人口	人	1, 353	1, 371	1, 396	98. 7%
水洗	化率	%	95. 5	95. 0	94.8	100.5%
処	年間総処理水量	m³	275, 210	274, 335	272, 626	100.3%
理水量	1日平均処理水量	m³	754	750	747	100. 5%
量	1日最大処理水量	m³	1, 373	1, 155	1, 134	118.9%
年間	総有収水量	m³	249, 680	259, 632	265, 262	96. 2%
	内 辰野町分	m³	133, 946	140, 678	144, 300	95. 2%
	内 塩尻市分	m³	115, 734	118, 954	120, 962	97. 3%
有収水率		%	90. 7	94. 6	97. 3	95. 9%
使用	料単価	円/m³	191. 9	191. 1	190. 7	100. 4%
汚水	処理原価	円/m³	196. 4	178.8	182.8	109.8%

# ウ 農業集落排水処理施設事業

	事 項	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比
水洗	化戸数	戸	290	295	307	98.3%
区域	内人口	人	668	688	728	97. 1%
水洗	化人口	人	630	649	689	97. 1%
水洗	化率	%	94. 3	94. 3	94. 6	100.0%
処	年間総処理水量	m³	84, 978	80, 997	77, 760	104.9%
処理水量	1日平均処理水量	m³	233	221	213	105. 4%
量	1日最大処理水量	m³	779	952	417	81.8%
年間	総有収水量	m³	58, 546	_	-	-
有収水率		%	68. 9	-	-	-
使用料単価		円/m³	198. 6	148. 4	165. 0	133. 8%
汚水	処理原価	円/m³	257. 9	301. 3	595. 2	85.6%

【表8】経営成績 (単位:千円)

年	度	総収益	総費用	純利益	
令和4年	度 A	970, 643	893, 449	77, 194	
令和5年	度 B	879, 826	778, 903	100, 923	
令和6年	度 C	868, 084	776, 397	91, 687	
	A	100.0%	100.0%	100.0%	
前年度対比	B/A	90.6%	87. 2%	130. 7%	
	C/B	98.7%	99.7%	90.8%	

### 第2 決算状況

## ① 収益的収支

収益的収入の決算額は904,580,703円で、前年度に比べ1.3%、11,682,162円の減である。 収益的支出の決算額は809,910,435円で、前年度に比べ2.3%、18,947,998円の減である。

【表9】収益的収支の状況(決算額) ※税込み (単位:円)

対前年度比
98. 7%
100. 2%
97. 5%
_
97. 7%
101. 3%
69.6%
759. 8%
108.3%

### ② 資本的収支

資本的収入の合計は874,452,950円で、前年度に比べ87.4%、407,799,850円の増である。収入の内訳は、企業債借入金、受益者負担金、国庫補助金及び一般会計補助金が主なものである。

資本的支出の合計は1,041,505,568円で、前年度に比べ55.8%、373,052,349円の増である。支 出の内訳は、建設改良費及び企業債償還金である。

なお、当年度の資本的収支不足額 167,052,618 円は、引継金、当年度分消費税及び消費税資本的収支調整額、当年度・過年度分損益勘定留保資金で補填している。

【表10】資本的収支の状況(決算額) ※税込み

(単位:円)

		ı				
	項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度比	
	企業債	307, 900, 000	130, 000, 000	142, 200, 000	236.8%	
	分担金及び負担金	9, 289, 950	10, 227, 100	10, 258, 800	90.8%	
収	補助金	557, 263, 000	326, 426, 000	334, 985, 000	170.7%	
入	内 国庫(県)補助金	222, 916, 000	2, 220, 000	25, 560, 000	10041.3%	
	内 他会計補助金	334, 347, 000	324, 206, 000	309, 425, 000	103.1%	
	収入合計 (A)	874, 452, 950	466, 653, 100	487, 443, 800	187.4%	
支	建設改良費	440, 476, 107	31, 344, 078	81, 641, 812	1405.3%	
	企業債償還金	601, 029, 461	637, 109, 141	661, 671, 985	94.3%	
扭	支出合計 (B)	1, 041, 505, 568	668, 453, 219	743, 313, 797	155.8%	
差引	過不足(C)	△ 167, 052, 618	△ 201, 800, 119	△ 255, 869, 997	82.8%	
	引継金	838, 240	26, 374, 398	28, 925, 412	3.2%	
C Ø	過年度損益勘定留保資金	114, 993, 499	92, 768, 491	120, 102, 119	124. 0%	
補填財	当年度損益勘定留保資金	48, 237, 715	82, 657, 230	106, 842, 466	58.4%	
財 源	消費税資本的収支調整額	2, 983, 164	0	0	皆増	
	減債積立金	0	0	0	-	
計 (D)		167, 052, 618	201, 800, 119	255, 869, 997	82.8%	
差引過不足金 (C—D)		0	0	0	-	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

## ③ 損益計算

営業収益は 365, 388, 927 円で、前年度に比べ 0.2%、891, 553 円の増、下水道使用料は 365, 167, 927 円で、前年度に比べ 0.2%、813, 553 円増加している。

営業外収益は502,695,321 円で、前年度に比べ2.5%、12,632,902 円の減である。 営業費用は723,568,959 円で、前年度に比べ1.1%、7,688,050 円の増である。 営業外費用は52,624,390 円で、前年度に比べ16.5%、10,369,813 円の減である。 以上の結果、当年度は純利益が91,687,104 円となり、黒字決算となった。 【表11】損益計算書

※税抜き

(単位:円)

【表 1 1 】 損益計昇書	※祝抜さ			(	<u> </u>
項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度比較	前年度対比
営業収益	365, 388, 927	364, 497, 374	380, 236, 674	891, 553	100. 2%
下水道使用料	365, 167, 927	364, 354, 374	379, 690, 674	813, 553	100. 2%
受託工事収益	0	0	0	0	-
その他営業収益	221, 000	143, 000	546, 000	78, 000	154. 5%
営業外収益	502, 695, 321	515, 328, 223	590, 405, 977	△ 12, 632, 902	97. 5%
利息・配当	114, 626	56, 400	36, 200	58, 226	203. 2%
補助金	1, 140, 000	0	2, 864, 000	1, 140, 000	皆増
負担金	21, 825, 512	19, 988, 847	20, 841, 552	1, 836, 665	109. 2%
他会計補助金	195, 460, 000	205, 601, 000	220, 382, 000	△ 10, 141, 000	95. 1%
長期前受金戻入	284, 118, 439	288, 423, 890	345, 352, 682	△ 4, 305, 451	98. 5%
雑収益	36, 744	1, 258, 086	929, 543	△ 1, 221, 342	2. 9%
収益合計	868, 084, 248	879, 825, 597	970, 642, 651	△ 11, 741, 349	98. 7%
営業費用	723, 568, 959	715, 880, 909	818, 291, 394	7, 688, 050	101. 1%
管渠費	32, 887, 949	33, 958, 737	31, 579, 104	△ 1,070,788	96. 8%
処理場費	176, 714, 309	156, 174, 760	179, 414, 181	20, 539, 549	113. 2%
受託工事費	0	0	0	0	_
総係費	25, 500, 966	31, 100, 495	32, 992, 428	△ 5, 599, 529	82.0%
減価償却費	487, 813, 135	493, 390, 525	502, 494, 302	△ 5, 577, 390	98. 9%
資産減耗費	652, 600	1, 256, 392	71, 811, 379	△ 603, 792	51. 9%
その他営業	0	0	0	0	_
営業外費用	52, 624, 390	62, 994, 203	75, 029, 110	△ 10, 369, 813	83. 5%
支払利息	50, 649, 217	61, 200, 179	72, 989, 849	△ 10, 550, 962	82.8%
雑支出	1, 975, 173	1, 794, 024	2, 039, 261	181, 149	110. 1%
費用合計	776, 193, 349	778, 875, 112	893, 320, 504	△ 2,681,763	99. 7%
経常利益	91, 890, 899	100, 950, 485	77, 322, 147	△ 9, 059, 586	91.0%
特別利益	0	0	0	0	_
特別損失	203, 795	27, 397	128, 522	176, 398	743. 9%
当年度純利益	91, 687, 104	100, 923, 088	77, 193, 625	△ 9, 235, 984	90.8%
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0	_
未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0	_
当年度未処分利益剰余金	91, 687, 104	100, 923, 088	77, 193, 625	△ 9, 235, 984	90.8%
	•				•

#### ④ 未収金の状況

下水道使用料未収金のうち現年度分は 4,601,812 円で、前年度に比べ 38.6%、2,893,348 円の減額、 過年度分は 3,110,561 円で、前年度に比べ 8.1%、272,740 円の減額となった。

【表12】下水道未収金

(単位:円)

区	分	金	額		備		考	
下水道使用料	11. 丰田 仝	7, 712, 373		現年度	4, 601, 812	(前年比	61.40	%)
下水垣使用水	7.八以立			過年度	3, 110, 561	(前年比	91.94	%)
亚光	) + . lm		050 505		0	(前年比	皆減	)
受益者負担金	艺术以宝		353, 765	過年度	353, 765	(前年比	94. 15	%)
合	計		8, 066, 138					

# 審査意見

- 1 下水道事業会計の主たる収入は下水道使用料である。水洗化率は公共下水道事業で95.7%、特定環境保全公共下水道事業で95.5%、農業集落排水処理施設事業で94.3%と高い数値となっており、前年と比べ公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業では増加となった。支出面においては、下水道設備、機械の更新や、施設の耐震化に向けた事業を計画的に進めている。当年度未処分利益剰余金は91,687,104円で、未処分利益剰余金のうち、82,288,313円は議会の議決による処分として減債積立金に積立てている。
- 2 事業の実施にあたっては、処理場整備事業では、令和 5 年度から繰越した辰野水処理センターの改築・耐震工事の実施、老朽施設等の更新工事としては、荒神山下街路ポンプ場 No.1 ポンプほか 6 か所のマンホールポンプの更新及び 8 か所の監視計の更新を実施した。今後も施設の更新需要は増加することが予想されるが、生活基盤インフラとして、安定した下水処理推進のために長寿命化に努められたい。
- 3 下水道使用料の未収金については昨年より大幅に減少となった。今後も個々の管理など基本的な点からしっかりとした対策を講じ、納入者の不公平感を招くことのないよう努められたい。
- 4 人員面では、専門的知識や技術の継承等の課題に対し、適正な人員の配置・確保に努められたい。

# Ⅲ. 町立辰野病院事業

#### 第1 経営の状況

#### 業務実績

令和6年度の入院患者数は27,188人で前年度に比べ2.7%、707人の増、外来患者数は62,216人で前年度に比べ2.8%、1,789人の減となった。

総収益は、2,319,127,881円(医業収益1,775,722,498円、医業外収益476,419,095円、訪問看護事業収益55,357,627円、居宅介護支援事業収益11,628,661円)で、前年度に比べ4.4%、98,153,562円増である。

総費用は、2,362,739,923 円 (医業費用 2,223,923,088 円、医業外費用 65,710,447 円、訪問看護事業費用 59,795,189 円、居宅介護支援事業費用 13,311,199 円) で前年度に比べ 0.9%、22,108,396 円増である。この結果、43,612,042 円の赤字決算となった。なお、一般会計からの繰入金は、520,000千円で、前年度より 125,000 千円の増である。

【表13】患者数推移

(単位:人)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
入 院	27, 188	26, 481	29, 412	29, 123	28, 715
外 来	62, 216	64, 005	76, 679	65, 172	61, 949
合 計	89, 404	90, 486	106, 091	94, 295	90, 664

【表14】経営成績 ※税抜き

(単位:千円)

年	度	総収益	総費用	純利益
令和2年度	A	2, 191, 154	2, 193, 545	△ 2,391
令和3年度	В	2, 301, 640	2, 249, 385	52, 255
令和4年度	С	2, 394, 003	2, 336, 296	57, 707
令和5年度	D	2, 220, 975	2, 340, 632	△ 119,657
令和6年度	Е	2, 319, 128	2, 362, 740	△ 43,612

			総収益の比率(%)	総費用の比率(%)	純利益の増減
	R3/R2	(B/A)	105.0%	102.5%	54, 646
前年度と	R4/R3	(C∕B)	104.0%	103.9%	5, 452
の対比	R5/R4	(D/C)	92.8%	100. 2%	△ 177, 364
	R6/R5	(E/D)	104.4%	100.9%	76, 045

<sup>※</sup>純利益の欄は前年に対する増減の差を表示しています。

### 第2 決算状況

### ① 収益的収支

収益的収入の決算額は 2,328,446,209 円で、前年度に比べ 4.4%、97,744,172 円の増である。収益的支出の決算額は 2,370,512,250 円で、前年度に比べ 0.9%、22,048,135 円の増である。

【表 1 5 】 収益的収支の状況 (決算額) ※税込み (単位:円)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度対比
病院事業収益	2, 328, 446, 209	2, 230, 702, 037	2, 405, 587, 891	104. 4%
医業収益	1, 783, 908, 974	1, 773, 520, 745	1, 958, 951, 335	100.6%
医業外収益	476, 824, 049	390, 955, 765	388, 336, 875	122.0%
訪問看護 事業収益	55, 965, 426	57, 856, 257	53, 212, 041	96. 7%
居宅介護支援事業収益	11, 747, 760	8, 369, 270	5, 087, 640	140. 4%
特別利益	0	0	0	_
病院事業費用	2, 370, 512, 250	2, 348, 464, 115	2, 345, 566, 133	100. 9%
医業費用	2, 257, 408, 826	2, 237, 306, 372	2, 228, 689, 058	100.9%
医業外費用	39, 640, 347	43, 757, 916	50, 152, 061	90.6%
訪問看護 事業費用	60, 051, 427	54, 649, 633	56, 970, 549	109. 9%
居宅介護支援事業収益	13, 411, 650	12, 750, 194	9, 754, 465	105. 2%
特別損失	0	0	0	_
差引	△ 42, 066, 041	△ 117, 762, 078	60, 021, 758	75, 696, 037

### ② 資本的収支

資本的収入の合計は39,800,000円である。収入の内訳は企業債、一般会計出資金である。

資本的支出の合計は 159,626,416 円で、内訳は建設改良費及び企業債償還金であり、25,663,241 円の減である。

なお、当年度の資本的収支不足額 119,826,416 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度・過年度損益勘定留保資金で補填している。

	項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度対比
	企業債	32, 000, 000	28, 000, 000	74, 500, 000	114.3%
	他会計負担金	0	0	0	-
収	他会計繰入金	0	0	0	-
	補助金	0	0	0	-
入	出資金	7, 800, 000	10, 000, 000	0	78.0%
	寄附金	0	1, 050, 000	0	0.0%
	収入合計 (A)	39, 800, 000	39, 050, 000	74, 500, 000	101.9%
支	建設改良費	41, 561, 300	67, 249, 930	106, 379, 181	61.8%
	企業債償還金	118, 065, 116	118, 039, 727	105, 511, 194	100.0%
出	支出合計 (B)	159, 626, 416	185, 289, 657	211, 890, 375	86. 1%
内、	、翌年度繰越分収入額	0	0	0	-
差引流	過不足(C)	△ 119, 826, 416	△ 146, 239, 657	△ 137, 390, 375	81.9%
C Ø	当年度及び過年度分 損益勘定留保資金	119, 627, 628	145, 902, 043	136, 822, 233	82.0%
の補填財源	当年度分消費税資本 的収支調整額	198, 788	337, 614	568, 142	58.9%
源	建設改良積立金	0	0	0	-
	計 (D)	119, 826, 416	146, 239, 657	137, 390, 375	81.9%
差引流	過不足金(C—D)	0	0	0	-

#### ③ 損益計算

医業収益は 1,775,722,498 円で、前年度に比べ 0.6%、10,825,012 円の増である。このうち入院収益は 945,899,066 円で、前年度に比べ 6.3%、56,234,987 円の増、外来収益は 659,074,013 円で、前年度に比べ 7.2%、51,006,757 円の減となっている。また他会計負担金は 76,712,000 円で前年度に比べ 1.7%、1,297,000 円の増となっている。

医業外収益は 476, 419, 095 円で、前年度に比べ 22.0%、85, 961, 725 円の増である。主なものは他会計負担金・補助金、資本費繰入収益である。

医業費用は 2, 223, 923, 088 円で、前年度に比べ 0.9%、20, 297, 806 円の増である。このうち給与費は前年度に比べ 4.0%、48, 385, 830 円の増、材料費は 8.4%、24, 156, 696 円の減、経費は 0.3%、1,385,046 円の減となった。また、減価償却費は前年に比べ 0.6%、918,801 円の減である。

医業外費用は 65,710,447 円で、前年度に比べ 6.0%、4,211,151 円の減で、企業債利息、消費税雑支出等である。

訪問看護事業は収益が 55, 357, 627 円で、前年度に比べ 3.3%、1,892,566 円の減、費用が 59,795,189 円で前年度に比べ 9.9%、5,370,106 円の増となった。

居宅介護支援事業は収益が 11,628,661 円で、前年度に比べ 38.9%、3,259,391 円の増、費用が 13,311,199 円で、前年度に比べ 5.1%、651,635 円の増となった。以上の結果、当年度は経常損失が 43,612,042 円となり赤字決算となった。

【表17】損益計算

※税抜き

(単位:円)

【表 1 7 】 損益計算 ※ 物	L抜さ			(単位:円)
項目	令和6年度	令和5年度	前年度比較	前年度対比
医業収益	1, 775, 722, 498	1, 764, 897, 486	10, 825, 012	100.6%
入院収益	945, 899, 066	889, 664, 079	56, 234, 987	106.3%
外来収益	659, 074, 013	710, 080, 770	△ 51,006,757	92.8%
その他医業収益	94, 037, 419	89, 737, 637	4, 299, 782	104.8%
他会計負担金	76, 712, 000	75, 415, 000	1, 297, 000	101.7%
医業費用	2, 223, 923, 088	2, 203, 625, 282	20, 297, 806	100.9%
職員給与費	1, 270, 966, 166	1, 222, 580, 336	48, 385, 830	104.0%
材料費	262, 525, 030	286, 681, 726	△ 24, 156, 696	91.6%
経費	536, 935, 807	538, 320, 853	△ 1,385,046	99. 7%
減価償却費	148, 722, 444	149, 641, 245	△ 918, 801	99.4%
資産減耗費	2, 624, 725	3, 649, 972	△ 1,025,247	71.9%
研究研修費	2, 148, 916	2, 751, 150	△ 602, 234	78. 1%
(医業損失)	448, 200, 590	438, 727, 796	9, 472, 794	102. 2%
医業外収益	476, 419, 095	390, 457, 370	85, 961, 725	122.0%
受取利息配当金	73, 367	1, 794	71, 573	4089.6%
他会計補助金	183, 733, 000	77, 472, 000	106, 261, 000	237. 2%
補助金	10, 316, 000	48, 259, 000	△ 37, 943, 000	21.4%
他会計負担金	205, 723, 000	180, 544, 000	25, 179, 000	113. 9%
長期前受金戻入	23, 393, 221	26, 134, 901	△ 2,741,680	89. 5%
資本費繰入収益	46, 032, 000	51, 569, 000	△ 5,537,000	89.3%
その他医業外収益	7, 148, 507	6, 476, 675	671,832	110.4%
他会計繰入金	0	0	0	
医業外費用	65, 710, 447	69, 921, 598	△ 4,211,151	94.0%
支払利息・企業債諸費	655, 299	624, 345	30, 954	105.0%
その他医業外費用	65, 055, 148	69, 297, 253	△ 4, 242, 105	93.9%
訪問看護事業収益	55, 357, 627	57, 250, 193	△ 1,892,566	96. 7%
療養費収益	49, 279, 592	51, 189, 507	△ 1,909,915	96. 3%
その他収益	6, 078, 035	6, 060, 686	17, 349	100.3%
訪問看護事業費用	59, 795, 189	54, 425, 083	5, 370, 106	109.9%
給与費	57, 203, 780	52, 056, 019	5, 147, 761	109.9%
経費	2, 591, 409	2, 369, 064	222, 345	109.4%
居宅介護支援事業収益	11, 628, 661	8, 369, 270	3, 259, 391	138. 9%
介護給付費収益	10, 437, 620	7, 299, 840	3, 137, 780	143.0%

介護予防支援費収益	1, 191, 041	1, 069, 430	121, 611	111.4%
居宅介護支援事業費用	13, 311, 199	12, 659, 564	651, 635	105. 1%
給与費	12, 320, 667	11, 804, 345	516, 322	104. 4%
経費	990, 532	855, 219	135, 313	115.8%
経常損益	△ 43,612,042	△ 119, 657, 208	76, 045, 166	36. 4%
特別利益	0	0	0	_
特別損失	0	0	0	_
当年度純損益	△ 43, 612, 042	△ 119, 657, 208	76, 045, 166	36. 4%
前年度繰越利益剰余金	△ 35, 645, 493	84, 011, 715	△ 119, 657, 208	_
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	_
当年度未処分利益剰余金(未処理欠損金)	△ 79, 257, 535	△ 35, 645, 493	△ 43, 612, 042	222. 3%

【表 18】病院事業費用の機能分析 ※税抜き (単位:千円)

	令和(	 6 年度	令和 5	5 年度	令和 4	1年度	
項目	金額	構比率	金 額	構比率	金 額	構比率	前年度比
給与費	1, 270, 966	53. 8%	1, 222, 580	52. 3%	1, 192, 483	51. 1%	104.0%
材料費	262, 525	11. 1%	286, 682	12. 2%	301, 077	12. 9%	91.6%
経費	536, 936	22. 7%	538, 321	23. 0%	540, 593	23. 1%	99. 7%
減価償却費	148, 722	6. 3%	149, 641	6. 4%	150, 320	6. 4%	99. 4%
資産減耗費	2, 625	0.1%	3, 650	0. 2%	8, 917	0.4%	71. 9%
研究研修費	2, 149	0.1%	2, 751	0.1%	2, 144	0.1%	78. 1%
医業外費用	65, 710	2.8%	69, 922	3.0%	74, 193	3.2%	94.0%
訪問看護事業 費用	59, 795	2.5%	54, 425	2.3%	56, 860	2.4%	109. 9%
居宅介護支援 事業費用	13, 312	0.6%	12, 660	0.5%	9, 709	0.4%	105. 2%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	_
合 計	2, 362, 740	100.0%	2, 340, 632	100.0%	2, 336, 296	100.0%	100. 9%

## ④ 未収金の状況

医業未収金のうち現年度分は182,668,232 円で前年度に比べ5.1%、8,848,854 円の増、過年度分は2,894,611 円で前年度に比べ14.4%、486,712 円の減となっている。

区 分		令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年比
医类土加入	現年度	182, 668, 232	173, 819, 378	201, 159, 338	105. 1%
医業未収金	過年度	2, 894, 611	3, 381, 323	4, 155, 440	85.6%
医类丛 土田 人	現年度	6, 515, 000	5, 388, 400	34, 636, 800	120.9%
医業外未収金	過年度	0	0	0	_
<b>計明毛諾東米土</b>	現年度	8, 891, 769	8, 875, 073	8, 432, 398	100. 2%
訪問看護事業未収金	過年度	0	0	0	_
居宅介護支援事業	現年度	0	0	0	_
未収金	過年度	0	0	0	_
スの仙士四ム	現年度	0	0	0	_
その他未収金	過年度	0	0	0	_
	現年度	198, 075, 001	188, 082, 851	244, 228, 536	105. 3%
合計	過年度	2, 894, 611	3, 381, 323	4, 155, 440	85.6%
	合計	200, 969, 612	191, 464, 174	248, 383, 976	105.0%

## 審査意見

1 当病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしている。令和6年度においては、コロナ禍以前の水準には回復せず、外来患者数は前年度を大きく下回った。

総収益は前年度に比べ 4.4%、98,154 千円の増、総費用は 0.9%、22,108 千円の増となり、純損失が 43,612 千円と令和 5 年度に引き続き赤字決算となった。

一般会計などからの負担金・補助金は、前年度から125,000 千円増額の520,000 千円となった。 診療収入(医業収益)については、前年比0.6%の増収となり、入院収益では6.3%増、前年比56,235 千円の増収となった。また、外来収益については患者数が減少し、7.2%減、51,007 千円の減収となった。

費用面については、給与費は人事院勧告による支給額引上げにより 4.0%増となった。薬品費・ 経費等は患者数減により減少、減価償却費は昨年に引き続き減少した。今後も常勤医師の確保や 健診事業の拡充等、収益力強化と費用面の管理強化がしっかり機能することが望まれる。

資本面では、正味資本は 526,420 千円で、当病院規模としては脆弱であり、財務の立て直しが 迫られている。また、多額の繰入金によって運営するなど厳しい状況が続いている。医業収益に 対する医業費用が 125.2%と増加している事実を**緊急事態**であると考え、より一層の努力と早急な 対応を講じられたい。

2 未収金(医業未収金)については、過年度については減少したが現年度は増加している。今後 も早期に対応することや、院内の連携、徴収体制の工夫により増やさないようさらに努力された い。 3 物価高騰や患者数の減少、人件費の引上げ等による影響で、当病院の経営は大変厳しい状況にある。病床機能再編に向けた経営改善の取組みについては、今後検証していくなかで、地域に求められる病院機能の充実と安定的で質の高い医療サービスの提供に一層のご尽力を期待する。

# 令和6年度辰野町公営企業の経営健全化審査意見書

## 第1 審査の概要

① 審査の対象

公営企業会計における資金不足比率 上記の算定の基礎となる事項を記載した書類

- ② 審査の期日 令和7年8月4日
- ③ 審査の場所辰野町役場会議室
- ④ 審査の手続

町長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が 適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 第2 審査の結果

いずれも適正に作成されているものと認められた。

## (1) 資金不足比率

令和6年度の法適用企業である辰野町上水道事業会計、辰野町下水道事業会計、町立辰野病院 事業会計について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により審査 した。

いずれの会計も資金不足は生じておらず、該当なしとなった。

## 【表20】 資金不足比率

比 率 名	令和6年度(%)	経営健全化基準(%)
辰野町上水道事業会計		20
辰野町下水道事業会計		20
町立辰野病院事業会計		20

# ア 資金不足比率

資金不足額(一般会計などの実質赤字に相当する額)が営業収益に占める割合。 令和6年度決算は、黒字であるため、「-」と表記した。